

投資家としての
ステップアップに必要なことは？
広瀬隆雄の米株市況アップデート！

開催日：2022年10月28日（金）夜8時

講師：広瀬隆雄

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

投資にかかる手数料等およびリスク

【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

【レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点】

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

投資にかかる手数料等およびリスク

【外国株式等の取引にかかる費用】

〔現物取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類 取引手数料

米国株式 約定代金の0.495%（税込）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：22米ドル（税込）

中国株式 約定代金の0.275%（税込）・最低手数料：550円（税込）・上限手数料：5,500円（税込）

アセアン株式 約定代金の1.10%（税込）・最低手数料：550円（税込）・手数料上限なし

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,200円（税込）が追加されます。

〔米国株式信用取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料

約定代金の0.33%（税込）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：16.5米ドル（税込）

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

- 米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
- 米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

ETF/ETNのリスク（抜粋）

【複雑な商品設計のETF/ETNについての注意点】

ETF/ETNの中には、ボラティリティ指数先物を対象としたETF/ETNやカバードコール戦略を取り入れたETF/ETNなど、先物取引やオプション取引を組入れている場合があります。そのようなETF/ETNは、先物のルールによる価格変動、対象指数等そのものの急激な値動き等によって想定外の値動きをする場合があります。

また、レバレッジ型ETF/ETNやインバース型ETF/ETNは、原指標の日々の変動率に一定の倍数を乗じて算出されるレバレッジ型指標に連動するよう運用されます。そのため、値動きや想定されるリターンは、通常のETF/ETNとは異なる特性を有しています。

複雑な商品設計のETF/ETNに投資される際は、商品設計を開示書類等でご確認していただき、十分ご理解していただいた上で投資をしてください。

【ETFにおける信用リスク】

リンク債型ETFやOTCデリバティブ型ETFなどにおいては、ETFが投資に用いるリンク債の発行体またはETFのOTCデリバティブ取引の相手方の財務状況の悪化などにより基準価額が大きく下落する信用リスクが存在します。これらのETFの投資にあたっては、商品設計を予めご確認する必要があります。

【ETN発行体の信用リスク】

ETNは、裏付となる資産を保有せず、発行体となる金融機関の信用力をもとに価格が特定の指標に連動することを保証する債券です。そのため、発行体の倒産や財務状況の悪化、信用格付の引き下げ等の影響により、ETNの価格が下落または無価値となる可能性、また、償還時に発行体が償還金額を支払わない、または支払うことができない可能性があります。このような結果、損失が生じる可能性があります。

【早期償還等のその他のリスク】

市場動向の急変時や資産総額が小さくなった場合など、管理会社等が運用の継続が困難であると判断した場合は、運用を終了し、繰り上げ償還をする可能性があります。取引所が定める上場廃止基準に該当した場合は、上場廃止となる可能性があります。

詳細は、当社HPの「ETF/ETNのリスク」をご覧ください。

今日お話しすること

- 信用取引について
- 米国株の見通しについて
- 参考銘柄
- 質疑応答

信用取引について

- 元手の2倍までポジションを建てる事が出来る
- 売りから入ることもOK
- 受け渡し日 (T+2) を待たず、次の売買を行える = 資金を拘束されない

楽天証券の米株信用取引の特徴

- 成行・逆指値注文あり
- 保証金として利用できる通貨はドルに加え円もOK
- 代用有価証券の利用が可能
- 自動ロスカットあり

その他の米株信用取引のルール

- 取引手数料は約定代金の0.33%（上限16.5ドル税込）
- 買い方金利 = 基準金利（年率） + 3.5%
- 売り立ての貸株料 = 2.0%（年率）
- 信用取引の対象となる銘柄は日本証券業協会のガイドラインに従う（S&P500、ナスダック100指数採用銘柄など。ETFの場合、SPY、QQQ、DIA等はOK）

信用取引の注意点

- レバレッジがかかるのでヤラレになっているときは急速に保有資産が目減りする
- 委託保証金率50%でスタートするが、それが30%になったとき追証発生、ザラバ瞬間10%を切ったら自動ロスカット

信用取引の口座が必要

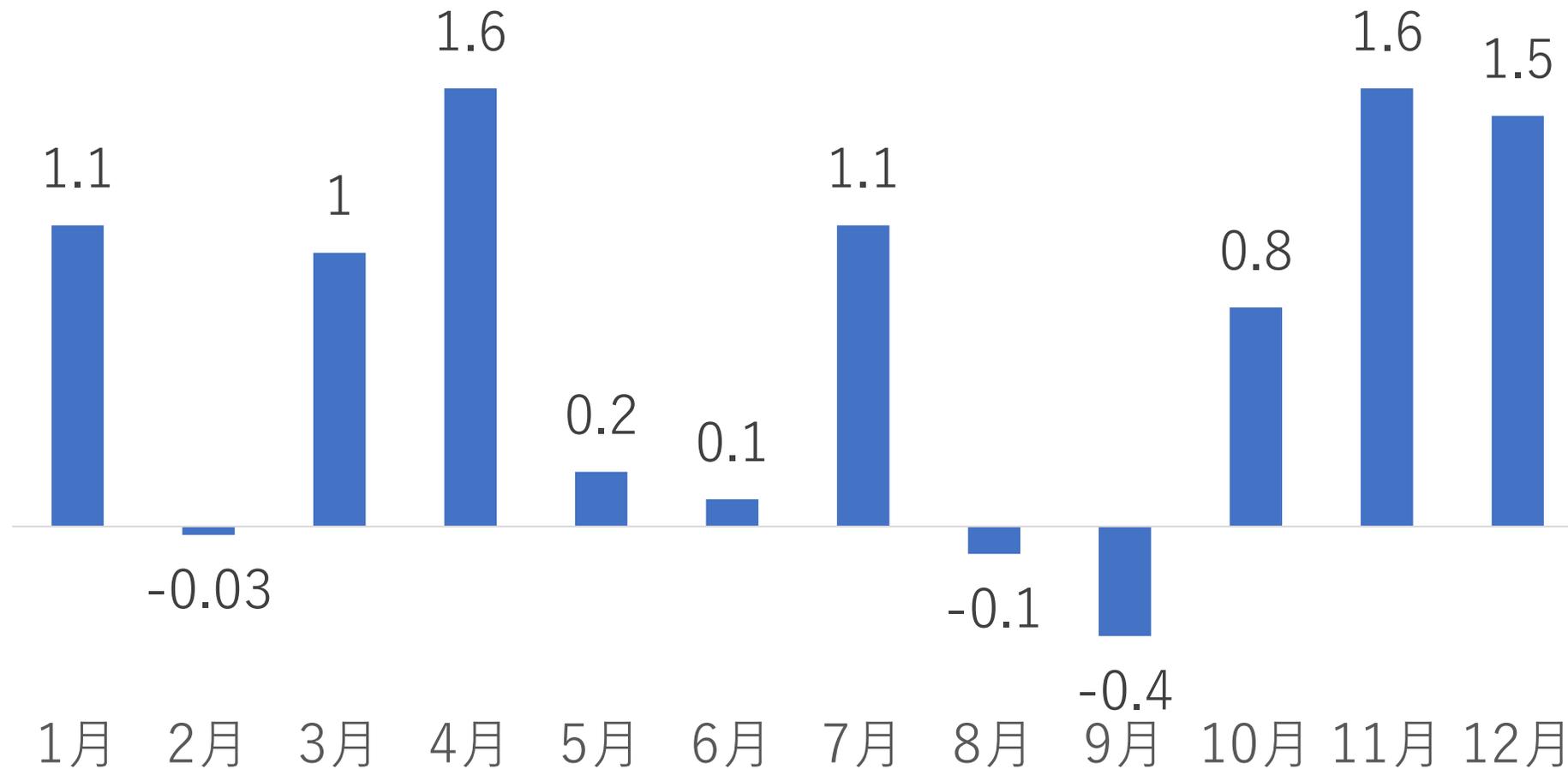
- 現物取引とは別に信用取引の口座を開設する必要あり
- 最低委託保証30万円からスタート

米国株の見通しについて

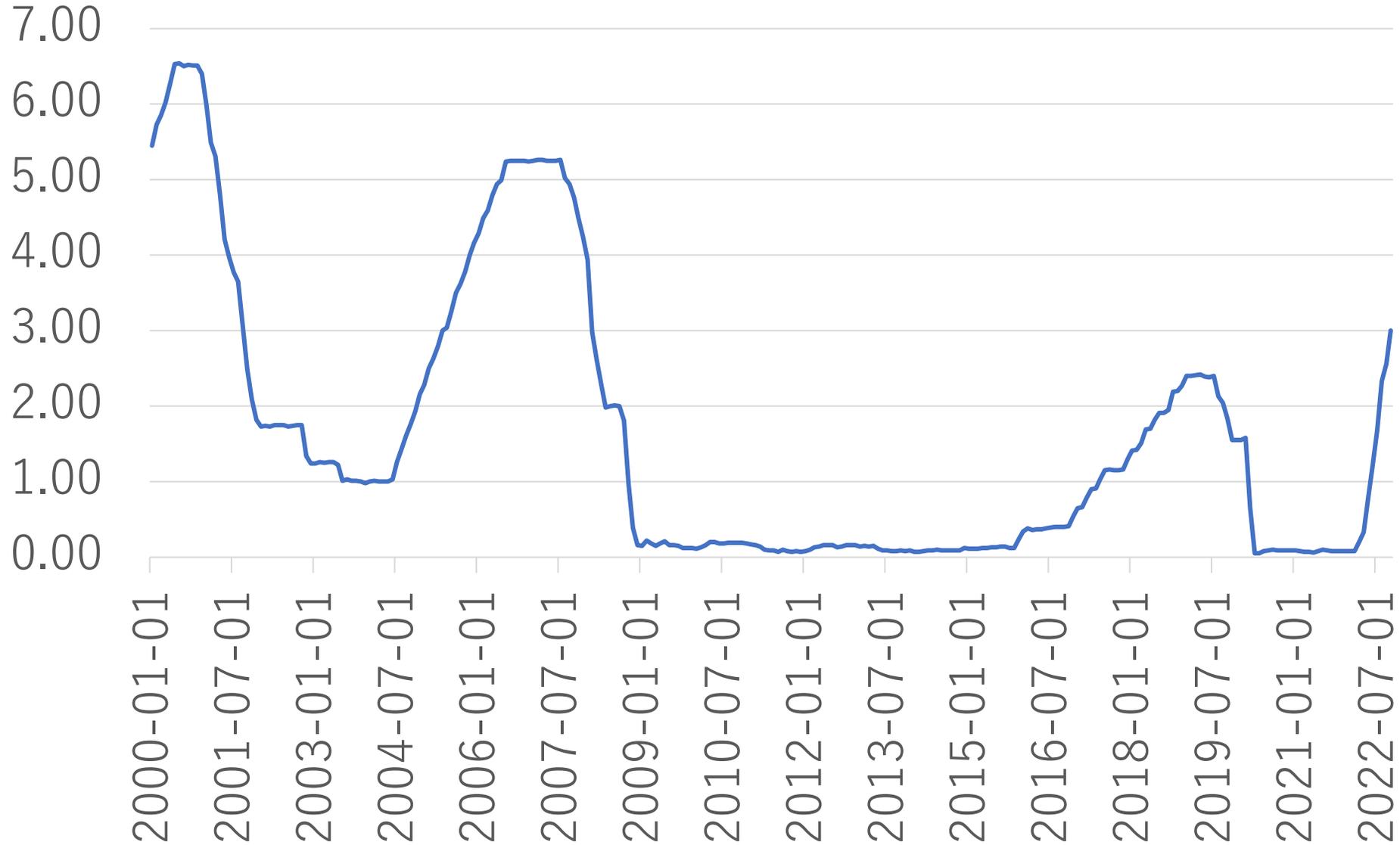
- 季節的に米国株が強いシーズンに突入
- 政策金利引き上げは最終局面に

S&P500月次パフォーマンス

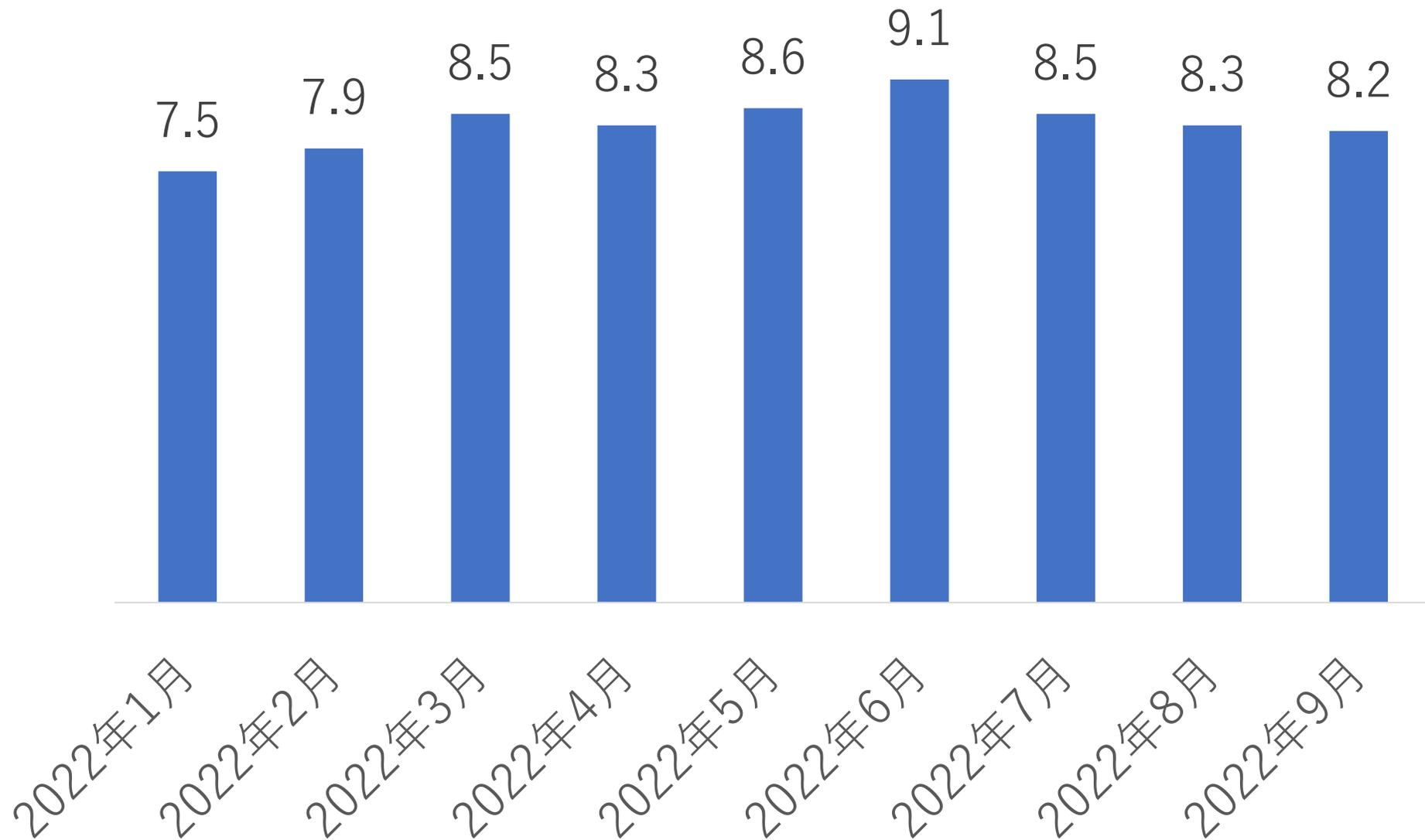
(%、1950年1月～2020年5月、
ストックトレーダーズ・アルマナック)



フェデラルファンドレート (%、セントルイスFRB)

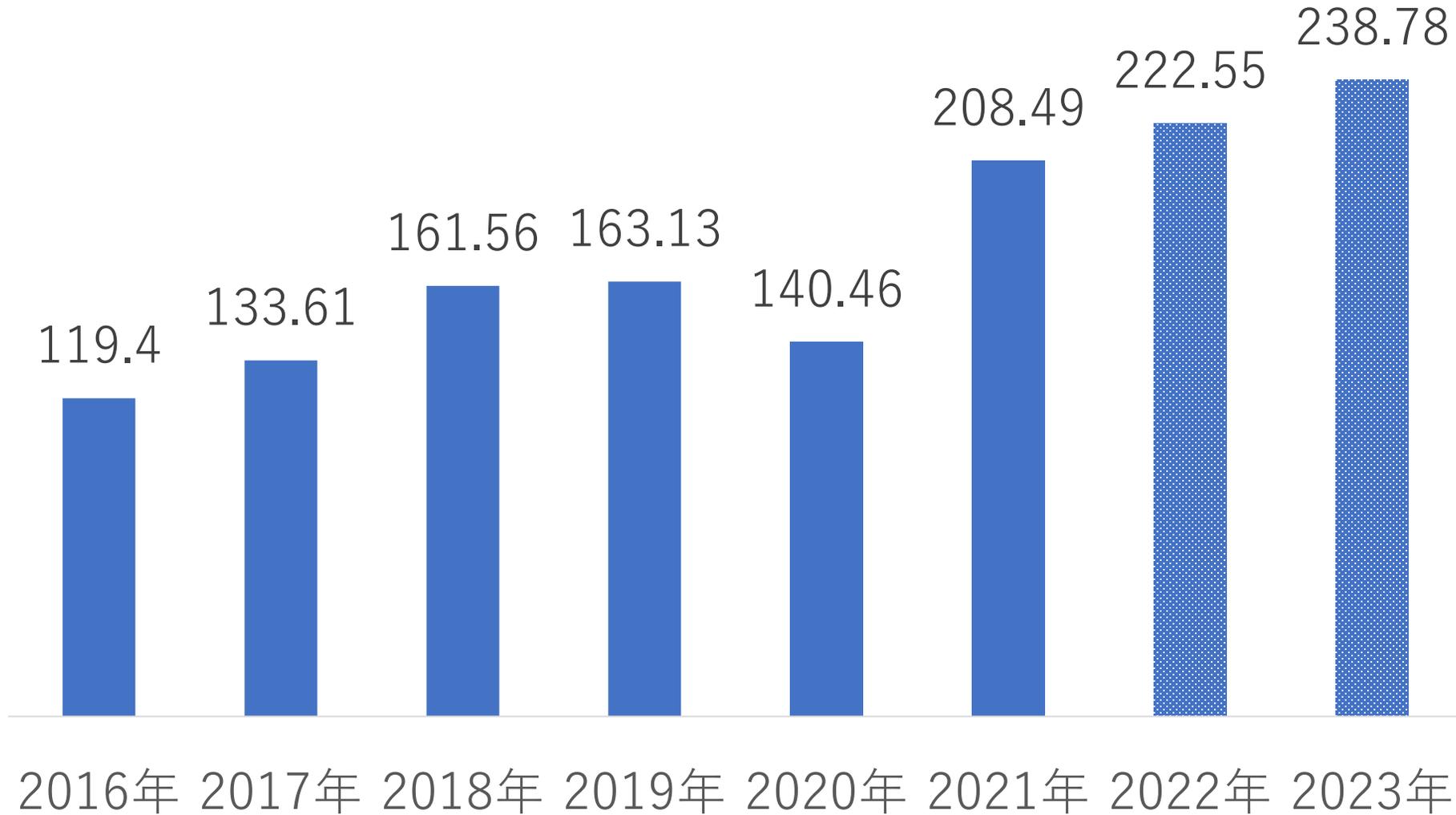


米国の消費者物価指数 (%、セントルイスFRB)

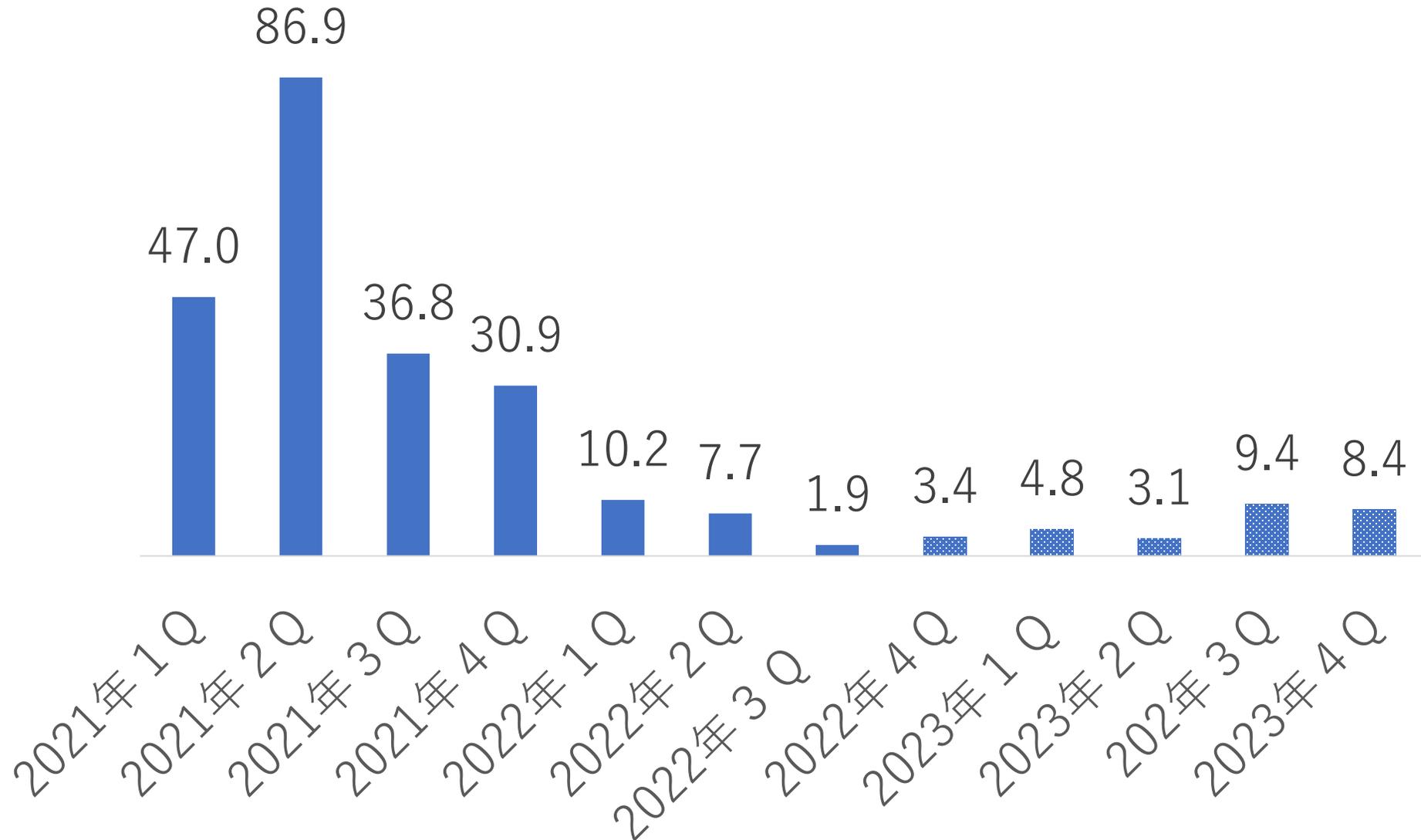


S&P500利益

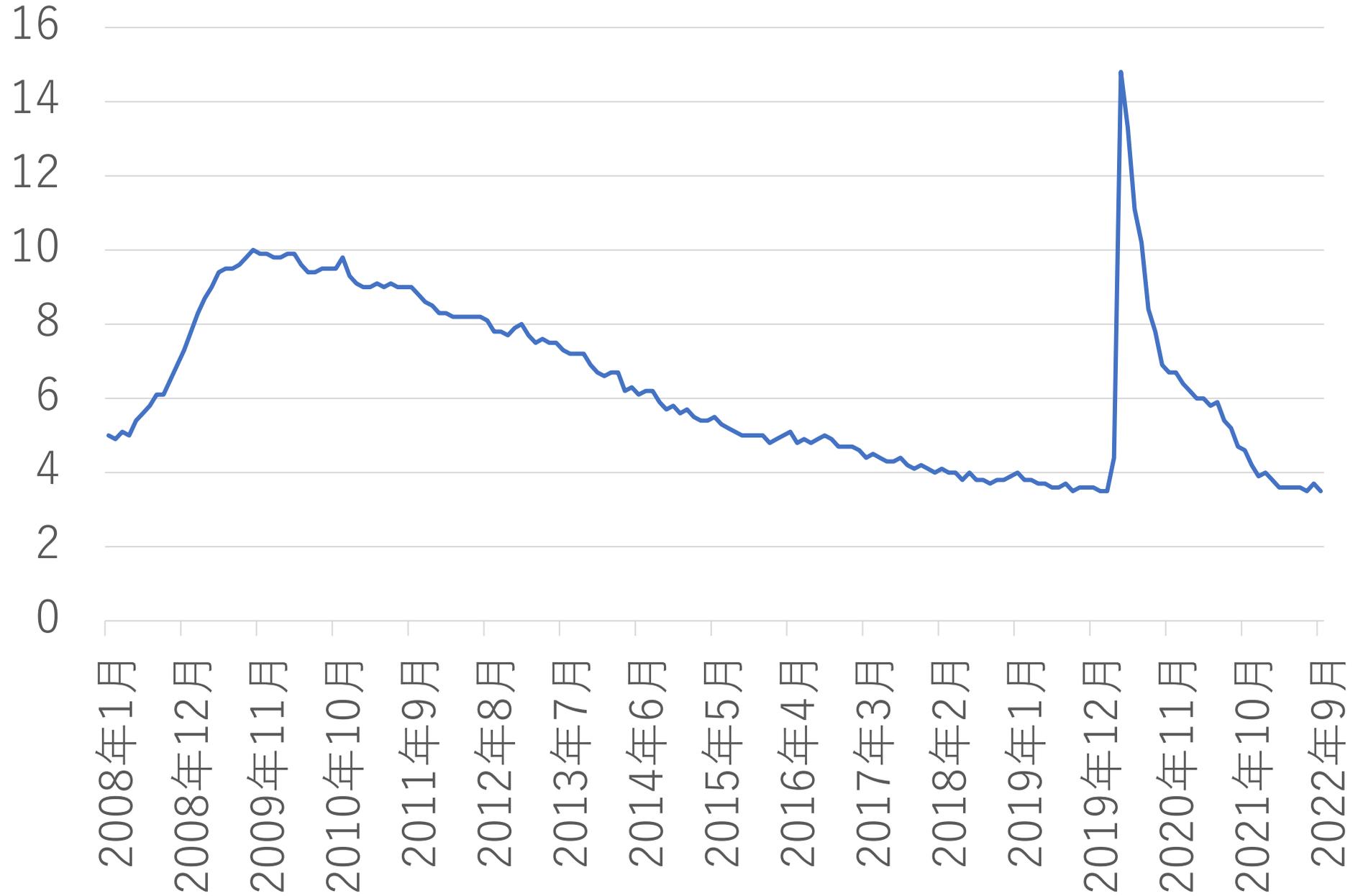
(ドル、ボトムアップ方式、ファクトセット)



S&P500四半期EPS成長率（%、前年比、ボトムアップ方式、ファクトセット）



失業率（%、労働統計局）



参考銘柄

- ズームインフォ
- ドクシミティ
- トレードデスク
- ドリブンブランズ
- スポーツトレーダー

ズームインフォ (ZI)

- 営業マン、マーケティングマネージャーに見込み顧客の情報をクラウド・プラットフォームを通じ販売
- Go-to-marketに特化 = 自社の営業にも使っている
- ソフトウェア、データを高い頻度で更新する
- 見込み顧客の会社組織図、どう優先順位を付け、いつアプローチするか？ など付加価値の高い情報をサブスクで提供
- 1年もしくは3年契約。支払は1年毎か四半期毎で前払い。返金なし。

ドクシミティ (DOCS)

- お医者さんと患者さんのセキュアなコミュニケーションを可能にするプラットフォームを提供
- 全米のお医者さんの8割（180万人）が利用、6300万回の遠隔診察→HIPAA(医療保険相互運用性説明責任法)コンプラ
- 製薬会社、医療システムにマーケティング機会をサブスクで提供、それに対する対価をもらっている
- 製薬会社は販促したい新薬を出すたびにモジュールを購入する必要がある
- 医療システムに対しては患者の紹介

トレードデスク (TTD)

- プログラマティック広告のクラウド・プラットフォームを提供
- デジタル広告キャンペーンの自動化の流れ→広告代理店が顧客
- オムニチャンネル広告キャンペーンの最適化を助ける
- 広告在庫、値付けに関し透明性がある
- 管理ツール、アナリティクスが充実
- 景気変動リスク、グーグルなどの広告在庫提供企業が在庫へのアクセスを制限するリスク、個人情報保護などの規制により個々の広告の有効性に変化が出てそれが需要に悪影響を与えるリスク

ドリブンブランド (DRVN)

- 全米最大の自動車修理工場チェーン→4300か所で故障修理、ボディ修理、ガラス、オイル交換、メンテナンス、洗車を行う
- 3千億ドル市場→極度に細分化され、零細企業が大半
- 米国では2.75億のクルマが走っており平均12年の中古車が多い
→メーカーのメンテ保証期間は通常6年
- 同社の市場占有率は1%（メンテ）～4%（塗装）
- バーガーキングの元経営者が始めた会社

スポーツトレーダー (SRAD)

- 年間75万の対戦データ・動画を150のスポーツリーグパートナー、900のベッティング業者、350のメディアに提供
- サブスク + 売上折半 → 売上の見込みが立てやすい
- NBA、MLB、NHL、FIFA、NASCARとパートナーシップ
- 試合前オッズ、ライブ・データ、ライブ・オッズ、詐欺発見システム、アナリティックス → スピード、信頼性、スケールラブル
- モバイル・ベッティングが急成長